

森研第57号
平成26年 6月 19日

関係各位

岐阜県森林研究所長

平成26年度岐阜県森林研究所「研究・成果発表会」の開催について

日頃は、当所の試験研究業務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。つきましては、多くの方に参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようにご案内申し上げます。

なお、参加を希望される場合は、下記により報告をお願いします。

記

1. 開催日時および場所

日時：平成26年7月16日（水）13：30～16：10（13：00より受付）

場所：中濃総合庁舎5階大会議室（岐阜県美濃市生櫛1612-2 TEL：0575-33-4011）

2. プログラム（発表・講演の内容は別紙のとおり）

テーマ「人工林の今と将来を考える」

13:30 開会・あいさつ

13:35～14:00 発表① 高齢化する過密林を適切に管理していくためには？

～趣旨説明に変えて～

専門研究員 渡邊仁志

14:00～14:25 発表② 過密林とはどんな林か

専門研究員 大洞智宏

14:25～14:50 発表③ 間伐手法の違いが過密人工林の収穫に与える影響

専門研究員 臼田寿生

14:50～15:00 休憩

15:00～15:35 講演 壮齢林を、目標とする高齢林へ ～樹冠でつなぐ森林管理～

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 横井秀一 氏

15:35～16:10 研究成果の紹介（ポスター展示）：ポスターの前で各研究員が説明いたします

16:10 閉会

3. 定員：150人程度（参加無料）

4. 申し込み方法：

別紙申込書に記入の上、FAX、電子メール、葉書のいずれかにより7月9日（必着）までにお申し込みください。（葉書の場合は氏名（団体名）、電話番号を記入ください）

5. 申し込み・問い合わせ先：

岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1） 担当：田中、臼田

電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584

電子メール：c25108@pref.gifu.lg.jp

【発表・講演内容】

テーマ「人工林の今と将来を考える」

発表① 高齢化する過密林を適切に管理していくためには？ ～趣旨説明に変えて～

専門研究員 わたなべひとし 渡邊仁志

森林研究所では高齢・過密化した人工林を解消し、木材生産林に誘導するための管理方法を検討してきました。ここでは研究・成果発表会の趣旨説明に代えて、過密林の実情と研究成果を取りまとめた冊子の紹介をします。

発表② 過密林とはどんな林か

専門研究員 おおぼらともひろ 大洞智宏

過密な人工林に対して、「線香林」や「間伐手遅れ林」という表現を用いる場合があります。しかし、これらの表現は林の状況を適切に表現しているのでしょうか。そこで、いくつかの針葉樹人工林を調査し、その結果を基に過密な林の現状や、間伐後の成長（肥り方）について検討しましたのでご紹介いたします。

発表③ 間伐手法の違いが過密人工林の収穫に与える影響

専門研究員 うすだひさお 臼田寿生

過密人工林の利用間伐を効率的に行うために列状間伐を選択することがあります。列状間伐は効率化が図られる一方で、下層間伐と比較して将来の収穫が不利になるなどのデメリットも指摘されています。そこで、過密人工林をモデルに間伐手法の違いと将来の収穫についてシミュレーションを行い、過密人工林における間伐手法の選択基準を検討しました。

講演 壮齡林を、目標とする高齢林へ ～樹冠でつなぐ森林管理～

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 よこいしゅういち 横井秀一 氏

間伐は、樹冠を管理する技術です。ともすれば木材生産に目が行きがちな壮齡期以降の間伐ですが、「目標に到達させるための樹冠管理」という間伐本来の目的を忘れてはなりません。樹冠をキーワードにすると何が見えるのか、そして樹冠管理とはどのように考えるのか、壮齡林～高齢林で集めたデータをもとにお話しします。

